

〔麦 類〕

1. 作付の概況

九州地域における平成21年産の麦類の作付面積は53,700ha で、前年と比べて1,140ha減少した。麦種別では、小麦が33,700ha、二条大麦が18,400ha、裸麦が1,600ha で、前年に比べて小麦は1,400ha、裸麦は40ha減少したが、二条大麦は300ha増加した。全国の作付面積に占める九州地域の割合は、小麦が16.2%、二条大麦が51.1%、裸麦が36.8%であった。

県別では、小麦は宮崎県を除くすべての県で減少した。二条大麦は熊本県を除くすべての県で増加した。裸麦は、福岡県、長崎県で減少し、佐賀県、大分県で増加した。

2. 生育概況

播種はほぼ順調であったが、その後冬期間に雨が多く日照時間は少なく、湿害の発生が見られた。このため、穂数は平年より少なかった。出穂期は平年よりやや早かった。登熟期は少雨多照で推移したため、赤かび病の発生もなく、登熟は良好であった。その結果、千粒重は平年より重かったものの、全粒数が平年より少なかった。

3. 作柄の概況

九州全体の10 a 当たり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均）対比は、小麦で86、二条大麦で88、裸麦で89、前年対比ではいずれも70近くと低かった。また、各県の10 a 当たり平均収量対比は、湿害の発生等により、小麦は宮崎県が121であった以外は71～91、二条大麦は76～92、裸麦は48～95と、いずれの麦種も作柄はよくなかった。

（九州沖縄農業研究センター 小麦・大麦育種ユニット 藤田雅也）

平成21年産麦類の作付面積と収穫量

(麦種) 地域・県	作付面積	10a 当たり 収量	収穫量	前年産との比較						(参考) 10a当たり 平均収量 対
				作付面積		10a 当たり 収量		収穫量		
				対差	対比	対比	対比	対差	対比	
(小麦)	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	
全 国	208 300	324	674 200	△ 500	100	77	△ 207 000	77	79	
九 州	33 700	328	110 400	△ 1 400	96	73	△ 47 100	70	86	
福 岡	14 700	348	51 200	△ 500	97	77	△ 17 800	74	87	
佐 賀	11 200	352	39 400	△ 300	97	70	△ 18 100	69	88	
長 崎	697	251	1 750	△ 74	90	60	△ 1 470	54	72	
熊 本	4 530	255	11 600	△ 290	94	65	△ 7 400	61	71	
大 分	2 420	253	6 120	△ 260	90	79	△ 2 460	71	91	
宮 崎	85	334	284	19	129	118	97	152	121	
鹿 児 島	20	200	40	△ 2	91	78	△ 16	71	82	
沖 縄	10	152	15	△ 1	91	121	1	107	86	
(二条大麦)										
全 国	36 000	322	115 800	600	102	79	△ 29 300	80	91	
九 州	18 400	304	55 900	300	102	70	△ 22 900	71	88	
福 岡	5 150	303	15 600	170	103	77	△ 4 000	80	92	
佐 賀	9 810	323	31 700	100	101	68	△ 14 400	69	88	
長 崎	896	271	2 430	124	116	64	△ 860	74	76	
熊 本	1 640	237	3 890	△ 130	93	60	△ 3 150	55	78	
大 分	731	268	1 960	14	102	81	△ 410	83	86	
宮 崎	50	228	114	15	143	100	34	143	87	
鹿 児 島	114	217	247	3	103	68	△ 106	70	88	
(裸麦)										
全 国	4 350	257	11 200	0	100	69	△ 4 900	70	82	
九 州	1 600	253	4 050	△ 40	98	72	△ 1 680	71	89	
福 岡	305	302	921	△ 34	90	77	△ 419	69	95	
佐 賀	150	293	440	9	106	68	△ 165	73	85	
長 崎	113	179	202	△ 45	72	56	△ 305	40	72	
熊 本	31	145	45	0	100	41	△ 66	41	49	
大 分	988	245	2 420	27	103	75	△ 730	77	91	
宮 崎	8	225	18	4	200	90	8	180	94	
鹿 児 島	1	128	1	△ 1	50	54	△ 4	20	61	

注：1) 「(参考) 10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率である。

2) △は減少を示す。

3) 資料は平成22年3月18日農林水産省公表の「平成21年産4麦の収穫量(第2報)」による。